

越佐みなと通信

平成 29 年 8 月 号



－越佐・みなと三つの役割…交易・産業・湊まち－

- 8月号：目次
- (1) 新所長からの挨拶
 - (2) 山の下埠頭で「白山」のパネル展示を行いました。
 - (3) 新潟港にクルーズ船「コスタ・ネオロマンチカ」が寄港しました。今月末には飛鳥Ⅱが寄港予定です。
 - (4) 浜で遊ぼうin南浜が開催されました。
 - (5) ピーチライフIN新潟が開催されました。
 - (6) 月待ち湊2017が開催されます。
 - (7) 新潟空港「空の日」記念イベントが開催されます。
 - (8) 平成28年度完成優良工事等表彰について
 - (9) 奥谷前所長離任の挨拶 ～ありがとうございました～
 - (10) 湊まち新潟歴史ウォーク2017 第3回目ウォークが開催されました。

1. 新所長からの挨拶

8月1日付けで、奥谷前所長の後任を拝命しました、佐瀬浩市です。約20年ぶりの新潟勤務となりました。この間、メキシコ、北海道、外務本省、チリをはじめ、羽田のD滑走路や東日本大震災の復旧・復興にも携わらせて頂きました。いずれの地域・部署においても、一人では何もできず、地域や職場の方々と一緒に始めて、ようやく勤め上げることができたと振り返るばかりです。一日一日が、そして、一年一年が人をつくるといいます。新潟で体得した視点を羅針盤に据え、その後の20年を過ごして参りました。いずれの勤務先や役人人生全般においても、極めて大事な基礎となり、滑走路づくりでも、震災復興でも、チリでも、すべての出発点となりました。

事務所長を拝命したからには、身命を賭して業務に邁進する所存ですが、その一方で、職員一人ひとりが目指す幸せのカタチにも心を寄せて、これからの日々を過ごしたいと考えています。これは自らも含め、せつかくの人生を実り多きモノにするためにも、しつこく追求していきたいテーマです。かけがえのない皆さんをはじめ、地域とともに、しっかりと歩みを進めていければ幸いです。



佐瀬所長

2. 山の下埠頭で「白山」のパネル展示を行いました。

新潟港（西港区）山の下埠頭北側岸壁で、7月22日（土）、23日（日）の2日間、護衛艦「まつゆき」の一般公開が行われ、約2,700人の来場者がありました。

当事務所も同所で、大型浚渫兼油回収船「白山」のパネル展示を行い、白山の実施する浚渫業務、流出油回収業務などを紹介しました。

日曜日は、あいにくの雨でしたが、それでもたくさんの方々から訪ねていただき、パネルを1枚1枚熱心にご覧いただく方や、数多く質問をされる方もおられ、白山の業務やその重要性について、たくさんの方にご理解いただけたものと思います。

当初、「白山」も護衛艦「まつゆき」と併せ一般公開する予定でしたが、6月30日からの豪雨による流下土砂により港内が急激に浅くなったため、緊急的に「白山」による浚渫が必要となり、急遽、一般公開を中止し、浚渫作業にあたりました。結果、佐渡航路のフェリーの運航等に大きな支障は発生しませんでした。



パネル展示の様子



白山の作業を説明している様子



護衛艦「まつゆき」の背後で作業中の「白山」



作業船カードも配布

3. 新潟港にクルーズ船「コスタ・ネオロマンチカ」が寄港しました。今月末には飛鳥Ⅱが寄港予定です。

7月17日（祝日・月）、クルーズ客船「コスタ・ネオロマンチカ」（全長：220.52m、全幅：30.79m、総トン数：56,768トン、乗客定員：1,800人）が新潟港に寄港し東港区南ふ頭木材岸壁に着岸しました。

「コスタ・ネオロマンチカ」の新潟港への寄港は、今回が初めてで、午前9時から、ゆるきやらや新潟観光親善大使等によるお出迎えが、また午後4時頃からは、プラスバンド演奏があり、新潟港クルーズ・ファンクラブの会員や市民の方々による歓迎・お見送りが行われました。

今月末の29日（火）と31日（木）には、クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」（全長：240.96m、全幅：29.6m、総トン数：50,142トン、乗客定員：872人）が、新潟港に姿を見せる予定です。今回は「出雲の国・境港3日間」と冠した新潟港発着のクルーズで寄港し、目的地の境港では、出雲大社や国宝松江城などへのオプションツアーも用意されているそうです。29日午前10時に新潟港（西港区）山の下ふ頭北側岸壁から出発し、31日午後2時に戻ってきます。

みなさんで楽しく送迎しませんか。送迎イベントの詳細は、新潟市ホームページでご確認ください。

(<https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/port/cruiseclub/index.html>)



7/17南ふ頭に着岸したコスタ・ネオロマンチカ

4. 浜で遊ぼうin南浜が開催されました。

7月30日（日）、南浜漁港で『浜で遊ぼうin南浜』が開催されました。

地引き網や、魚に触れるタッチプール、直売コーナー、釣り船乗船体験等のイベントが行われ、朝早くから多くの方で賑わいました。

当事務所からは、事業紹介パネル等の展示により事業のPRを行いました。当初、予定していた港湾業務艇「あさひ」による新潟東港の見学会は、6月30日からの豪雨中に故障した「あさひ」を急遽、修理することとなったため中止としました。



パネル展示スペースでPRを行いました。

5. ビーチライフIN新潟が開催されました。

7月30日（日）日和山浜海水浴場（新潟市中央区）を会場に、第11回「ビーチライフIN新潟」が開催されました。

前日まで、心配されていましたが幸い天候にも恵まれ、会場では、ビーチバレー大会・ビーチサッカー大会が開催され白熱した試合が行われました。またビーチテニスやフライングディスクの体験会も開催され、参加者は、説明者のレクチャーを受けて試行錯誤しながらも楽しんでいました。



ビーチバレー大会の様子

宝探しや、スイカ割り、輪投げなどの海辺イベントも盛況の中で行われ、たくさん子どもたちが獲得したグッズと一緒に楽しんでいました。

会場の一角では、水上バイクやモーターボートなどのマリンスポーツのイベントも催され、日和山浜全体が、ビーチイベントで大いに賑わい、約3,200人の来場者と一緒に楽しい夏の1日を砂浜で堪能することができました。

6. 月待ち湊2017が開催されます。



9月9日(土)夕方5時30分スタートで、新潟みなとトンネル入船みなとタワーの階段広場を会場に「月待ち湊2017」が、開催されます。

今年は、^{いさよ}十六夜のお月さまが、少し遅れて、東の空から昇る予定です。

階段を飾るロウソクや、流木を使った行灯^{あんどん}が辺りを照らし、新潟西港を入出港する船舶や、対岸のカーフェリーの窓やデッキの灯火が水面に反射し、早秋のすすきが風を受けて揺れる幻想的な雰囲気を楽しめます。

秋の夜長、虫の音を聞きながら、お月見を楽しんでみませんか。

お問い合わせは、主催者：NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部まで

(080-6542-3817(渋川さま))



7. 新潟空港「空の日」記念イベントが開催されます。

9月10日(日)、新潟空港(新潟市東区松浜町)で新潟空港「空の日」記念イベントが開催されます。航空機やヘリコプターの展示のほか、スタンプラリーや屋上送迎デッキの無料開放などたくさんのイベントが予定されています。

興味のある方は、新潟空港(新潟空港整備推進協議会)のホームページをご覧ください(<http://www.niigata-airport.gr.jp/>)。

※9月20日は、「空の日」です。

平成4年に、昭和15年に設けられた「航空日」から改称し、併せ空の旬間(9/20~30)が設けられました。この期間を中心に全国各地の空港などで様々な催しが行われます。



8. 平成28年度完成優良工事等表彰について

7月20日(木)、北陸地方整備局国土交通事業関係功労者等表彰式が北陸地方整備局で、行われました。当事務所関連では、平成28年度完成工事及び委託業務の中から、優良工事に「新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設上部工事」の東洋建設(株)北陸支店が、優良委託業務に「新潟港(西港地区)浚渫土砂海洋投入許可申請書作成業務」の日本工営(株)新潟支店が選定され北陸地方整備局長表彰を受賞されました。

また7月21日(金)には、事務所長表彰式を行い、優良工事として「新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設護岸築造工事(その1)」の東洋・みらい特定建設工事共同企業体、工事の優良建設技術者として「新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設護岸築造工事(その2)」の五洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体の監理技術者の横田武氏、委託業務の優良技術者として「新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設排砂管設置実施設計」の(株)日本港湾コンサルタント北陸事務所の管理技術者の柏原裕彦氏を表彰しました。

その他、優良工事に選定された上記2件工事の下請負者の中から、工事の品質確保や向上に貢献した企業として、(有)宮澤建設工業、高橋秋和建设(株)、(株)川武潜水興業及び永光建設(株)と各企業の専任技術者を選定し表彰しました。

こうした取組みを通じて、引き続きより良質な社会資本整備を目指していきます。

※優良工事等表彰は、北陸地方整備局所管の工事及び委託業務等の中から、良質な社会資本整備を目指すとともに建設技術の向上、並びに事業を円滑に推進するため、施工又は成果が優秀で、他の模範となるものを選定し、表彰しているものです。

9. 奥谷前所長離任の挨拶～ありがとうございました～



奥谷前所長

8月1日付けで一般財団法人みなと総合研究財団で勤務することとなりました。

2度目の新潟勤務は1年4か月と少し短いものでしたが、皆様のおかげで充実したものでした。

各地域が生き生きとしていくためには、借り物ではなく、その地域ならではのものを軸とすることが大切です。

広い県土、比較的レベルの高い交通インフラ、豊かな農水産品等々、当たり前のものが他の地域の方を魅了する、そんな地域づくりにこれまでと違う立場ではありますが、引き続き取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

10. 湊まち新潟歴史ウォーク2017 第3回目のウォークが開催されました。



7月29日(土)、「湊まち新潟歴史ウォーク2017」の第3回目のウォークが、「新潟西港と水理実験場」をテーマに開催されました。

今回は、現在の新潟港を学んでいただくことを目的として、当所職員による座学「港の役割」を受講し、港の役割や新潟西港について学びました。

その後、新潟港湾空港技術調査事務所の水理実験場の見学やペットボトルを使った液状化現象の体験をしました。

最後は、新潟みなとトンネルの自転車歩行者道を歩いて、山の下みなどタワー6階の展望室まで移動しました。この間、参加者からは多くの質問をいただき、またメモを取られる方も居られ、港に関する関心の高さが感じられました。

次回は、8月26日(土)に大型浚渫兼油回収船「白山」の船内見学のほか、入船みなとタワー、水戸教公園などを訪ねる予定です。



造波のデモンストレーション見学



ペットボトルを使った液状化現象の体験

※水理実験場では、港内の波の高さや向きなどを調べて最適な港の構造物の配置を検討したり、様々な大きさの波を作用させて、波に対する構造物の安定性を検証する水理模型実験をしています。

現在では、コンピュータによる数値解析(シミュレーション)が発達していますが、数値解析(シミュレーション)では対応できない複雑な水理現象の解決に、水理模型実験が大きな力を発揮します。



8月7日(月)～9(水)、当事務所と同じ敷地内に実験施設がある新潟港湾空港技術調査事務所の「～みなとづくりを支える～『水理実験場』一般公開」が、開催されました。

台風5号の接近による高温(猛暑)や悪天候にかかわらず、延べ81名の方に参加していただきました。

当初、「港湾業務艇『あさひ』に乗船 みなと見学会」も実施する予定でしたが、中止することとなりました。参加を楽しみにされていた方には、お詫び申し上げます。

さて、今年の夏。ほうれん草や長ネギなど葉物野菜の値段が大幅に上がっている様です。春の低温に加え先月の九州北部豪雨など、局地的に大雨が降ったことも原因の一つの様です。

県内でも、7/1～5日、23～25日にかけての梅雨前線の停滞や17～18日にかけての寒気を伴った気圧の谷に西からの湿った空気が流れ込んだ影響で、各地で記録的な降雨が観測されました(ex.加茂市宮寄上では、月間降雨量815mm、年間降雨量の2.7倍を記録しました)。出典：新潟地方気象台「新潟県の

気象概況平成29年(2017年)7月」

信濃川河口に位置する新潟西港では、流域で大雨が降りつづくと、増水した川は茶色く濁った水とともに上流からゴミや大量の土砂を運びます。

雨は、恵をもたらす、天からの贈り物ですが、今年の夏の降雨には、公私ともども振り回さればなし..だった印象です。

ご意見感想は pa.hrr-niigata@mlit.go.jpまでお寄せ下さい。

発行(第120号 H29. 8.10)



国土交通省 北陸地方整備局

新潟港湾・空港整備事務所

〒951-8011 新潟市中央区入船町4-3778

電話 025-222-6111 fax 025-227-3170